

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) “相談学生”に学ぶ学生相談	単著	令和3年12月	大学教育出版	著者の30年以上にわたる学生相談の実践・研究のマイルストーンとして「間主観カウンセリング」による事例研究を8事例提示したものである。「間主観カウンセリング」は生涯にわたる恩師である伊藤隆二教授が開発されたものであり、それを引き継ぐ著者が「精神のリレー」として次世代へとバトンを渡したく思っているものである。(総ページ数:155頁)
2 (論文) 江戸川乱歩と精神分析 —論文「J・A・シモンズのひそかなる情熱(四)」を読む—	単著	令和2年2月	広島国際大学 総合教育センター 紀要 第4号 pp.1~16 広島国際大学 総合教育センター	本稿では、大槻憲二が主宰していた東京精神分析学研究所が発行する『精神分析』に1933年に発表された江戸川乱歩の未完の論文「J・A・シモンズのひそかなる情熱」の内、第四回掲載分について検討・考察を行った。(総ページ数:16頁)
3 (論文) 1992年の「精神薄弱」用語問題: 議論1・『発達障害研究』(日本精神薄弱研究協会)1992年 第14巻 第1号を中心に	単著	令和2年12月	教育論叢 第12号 pp.3~15 広島国際大学 教職教室	今回は、1992年の日本精神薄弱研究協会『発達障害研究』第14巻第1号「特集『精神薄弱』用語問題を考える」に焦点を当てて検討を進めた。(総ページ数:13頁)
4 (論文) C.R.ロジャーズのカウンセラーの中核三条件におけるキリスト教的側面 —(1)「自己一致」について—	単著	令和3年3月	広島国際大学 総合教育センター 紀要 第5号 pp.1~20 広島国際大学 総合教育センター	C.R.ロジャーズはカウンセラーの三条件を提唱している。それは①「純粋性」または「自己一致」、②「無条件の肯定的尊重」、③「共感的理解」である。このうち本稿では①の「自己一致」のキリスト教的側面を検討した。(総ページ数:20頁)
5 (論文) 1992年の「精神薄弱」用語問題: 議論2・『AIGO:精神薄弱福祉研究』(日本精神薄弱者愛護協会)1992年 第39巻 第5号から第7号を中心に	単著	令和3年12月	教育論叢 第13号 pp.1~20 広島国際大学 教職教室	今回は、1992年の日本精神薄弱者愛護協会『AIGO』第39巻第5号から第7号「再考“精神薄弱”の呼称と人権【I・II・III】」に焦点を当てて検討を進めた。(総ページ数:20頁)